

知ってますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和5年度学校巡回公演事業

劇団うりんこ 児童劇公演

小学校は宇宙ステーション

原作○山田理加子 『小学校は宇宙ステーション』（ポプラ社出版） © 山田理加子・小林直子 / ポプラ社

脚本・演出○佃典彦

美術○青木拓也 照明○四方あさお 衣裳○木場絵理香 音楽○内田アダチ

音響○椎名KANS 宣伝美術○ぴんりか（イラスト） 太田貴子（デザイン）

写真○服部義安 映像○清水ジロー 協力○岡田保

劇団うりんこ Q & A

Q: 「うりんこ」って何のことですか？

A: イノシシの子どものことです。イノシシの子どもの体にはしまもようがあって、それがマクワウリににていることから、イノシシの子どものことを「ウリの子」=「ウリンコ」と言うようになったのです。ウリンコのように元気よくまっすぐに走っていこうという思いで、「劇団うりんこ」という名前を選びました。

Q: うりんこはどんな劇団ですか？

A: 子どもや若者が生き生きと夢を持って生きていくことを願って、お芝居を演じています。そのために、お芝居だけでなく、教育の問題や子どもの文化についての活動も幅広く行っています。うりんこ劇場という小さなホールで、冬休み子ども劇場、夏休み子ども劇場など、楽しいお芝居を地域のファミリーに向けて演じたり、コンサートを開いたりしています。劇団うりんこの創立は1973年、うりんこ劇場は1986年に出来ました。

「学校巡回公演事業」

小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、将来の芸術家の育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。

ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。

(((おじいちゃんおばあちゃんたちから 夢と元気をもらおうSFファンタジー

あの〜すいません。
給食のオバさんいませんか?

小学校4年生のイクミちゃんの
学校の給食室で事件は起こった!

この給食室の地下に
宇宙船があるー!

はあ?

故郷であるホープ星へ
返してあげたいんだ!

おばあちゃんおじいちゃんの
地球脱出計画を知ったイクミちゃんは

私も一緒にいきたい!!



ホープ星に行くぞー!



この年になって宇宙大戦争
カッコイじゃないか!



アイドルになるのが夢

さてさて
夢は叶うのか!?



安定した職に就くよ

「夢」がくれる最大のエネルギー、それは「生きる力」なのです。

どうしてもやってみたい事があるとワクワクします。

それを叶えるためならどんなことも頑張れそうに思えてくる……人はそれを夢と呼びます。
このお芝居は、おじいちゃんやおばあちゃんが持っているとんでもない「夢」のお話です。

君はどんな「夢」を持っていますか?

さあ!お芝居を観てくれる君の「夢」を叶えに、一緒にホープ星まで飛んでいきましょう!

知ってますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

劇団うりんこ Q & A

Q: 「うりんこ」って何のことですか？

A: イノシシの子どものことです。イノシシの子どもの体にはしまもようがあって、それがマクワウリににていることから、イノシシの子どものことを「ウリの子」=「ウリンコ」と言うようになったのです。ウリンコのように元気よくまっすぐに走っていこうという思いで、「劇団うりんこ」という名前を選びました。

Q: うりんこはどんな劇団ですか？

A: 子どもや若者が生き生きと夢を持って生きていくことを願って、お芝居を演じています。そのために、お芝居だけでなく、教育の問題や子どもの文化についての活動も幅広く行っています。うりんこ劇場という小さなホールで、冬休み子ども劇場、夏休み子ども劇場など、楽しいお芝居を地域のファミリーに向けて演じたり、コンサートを開いたりしています。劇団うりんこの創立は1973年、うりんこ劇場は1986年に出来ました。

令和5年度学校巡回公演事業

 劇団うりんこ 児童劇公演

小学校は宇宙ステーション

原作○山田理加子 『小学校は宇宙ステーション』（ポプラ社出版） © 山田理加子・小林直子 / ポプラ社

脚本・演出○佃典彦

美術○青木拓也 照明○四方あさお 衣裳○木場絵理香 音楽○内田アダチ

音響○椎名KANS 宣伝美術○ぴんりか（イラスト） 太田貴子（デザイン）

写真○服部義安 映像○清水ジロー 協力○岡田保

「学校巡回公演事業」

小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、将来の芸術家のや観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。

ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。
また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。

(((おじいちゃんおばあちゃんたちから 夢と元気をもらってSFファンタジー

あのすいません。
給食のオバさんいませんか？

しょうがっこう ねんせい
小学校4年生のイクミちゃんの
がっこう きゅうしょくじつ
学校の給食室で事件は起こった!

この給食室の地下に
宇宙船がある!



はあ？

故郷であるホープ星へ
返してあげたいんだ!

おばあちゃんおじいちゃんの
ちきゅう だっしゅつ けいかく
地球脱出計画を知ったイクミちゃんは

わたし
私も一緒にいきたい!!



ゆめ さいだい い ちから
「夢」がくれる最大のエネルギー、それは「生きる力」なのです。

どうしてもやってみたいことがあるとワクワクします。

それを叶えるためならどんなことも頑張れそうに思えてくる……人はそれを夢と呼びます。

このお芝居は、おじいちゃんやおばあちゃんが持っているとんでもない「夢」のお話です。

君はどんな「夢」を持っていますか？

さあ!お芝居を観てくれる君の「夢」を叶えに、一緒にホープ星まで飛んでいきましょう!



ホープ星に行くぞー!



この年になって宇宙大戦争
カッコイイじゃないか!

アイドルになるのが夢

さてさて
ゆめ かな
夢は叶うのか!?



安定した職に就くよ